

平成30年度外部評価後の 対応状況に係る質問返答表

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
①障がい者福祉事業【福祉課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>障がい者と支援団体のマッチング向上のために、事務所へのヒヤリングを実施したのはいいと思う。差し支えない範囲でよいので、ヒヤリング結果を知りたい。 今後は継続的にマッチング調整を図ることのできる仕組みづくりに期待する。</p>	<p>事業所に、希望する依頼業務の種類について調査したところ、利用者の障がい特性に応じた軽作業やデータ入力等の回答がありました。事業所の希望に対応した業務を提供できるよう、業務の募集方法等について検討していきます。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】

②在宅医療・介護連携事業の推進【長寿課】

行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>電子@連絡帳システムをモバイルツールでも利用しやすいシステムに移行したのはいいと思う。ただ、本来の目的は医師を中心とした多職種連携による支援の質向上であり、連絡帳はあくまでもツールなので、利用率アップが目的にならないように注意すべきである。</p>	<p>医師をはじめとした多職種が連携して、職種や所属が異なっても一つのチームのように支援ができることが、めざす姿であると考えています。電子@連絡帳の利用は一つの方法であり、職種間の相互理解を進めていくことを目的として、取組を進めているところです。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
③巡回バス運行事業【安心安全課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>利用されていない市民の意見を把握しているのであれば、分析した結果を知りたい。</p>	<p>平成30年6～7月にかけて、市内6小学校区ごとに、市内の公共交通の課題を把握するための懇談会が開催され、Nーバスに関する意見が寄せられ、主な意見として、以下のものがありました。</p> <p>①市役所での乗換えなしで、福祉の家に行けるようにして欲しい。</p> <p>②買物に行きやすい路線にして欲しい。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】

④文書の削減計画【行政課】

行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>ログの解析結果を利用方法を知りたい。 印刷数は対外的に配布する資料もあり、一概に文書削減の指標とは言えない。庁内打合せやドラフト版資料の印刷数が分かるのであれば、ログ解析の意味があるように思う。</p>	<p>印刷ログとしては、職員ID、印刷日時、枚数、印刷したファイル名、プリンタ名などがあり、職員IDから氏名及び部署を紐付け、ファイル名から何を、いつ何枚印刷しているかを推測しています。 特に、ファイル名から推測できるものや、印刷日時、枚数から、不要・不急なものがないか、サンプルチェックしているところです。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑤環境基本計画推進事業【環境課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>クールチョイスマップの周知は不十分と思う。 温暖化対策の施設補助件数の増加は好ましいが絶対数はまだ少ない。 事業全体効果の点から、補助のさらなる広報と既設住宅への補助拡充が必要かと思う。</p>	<p>クールチョイスマップについては、昨年度までに開催した関連ワークショップ参加者へ送付し、さらなる遡及を図るとともに、マップに掲載した協力店舗等に、マップの設置を配布を依頼します。 温暖化対策設備導入促進補助制度については、先進地等を調査し、補助の拡充や効果的な戦略を研究します。</p>
<p>市民アンケート実施予定とありますが、実施時期とアンケートの内容について教えてください。</p>	<p>時期は令和元年8月頃を予定しています。内容については、前期環境基本計画改訂の際に実施したアンケートと比較ができるように配慮しつつ、環境保全活動への参加意欲や、行政が行う環境施策への評価をお聞きしたいと考えています。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】

⑥子ども教室と児童クラブの一体型の推進【子ども未来課(旧:子育て支援課)】

行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>アンケート調査の内容と結果を知りたい。 子ども教室のコーディネータや指導員の育成が重要という認識はよいが、その方策が何かが分からない。今後考えるという対応か？</p>	<p>市では、平成29年12月に、放課後子ども教室利用の保護者と児童に対し、ニーズ等を把握するためのアンケートを実施しました。 アンケート結果では、放課後子ども教室の利用目的について、国が想定する体験・学習を目的に参加する児童が多くいる一方、中には、保護者が就労しており、児童の預け先として放課後子ども教室へ参加している児童が一定数みられました。</p> <p>放課後子ども教室は、児童クラブと違い、保育士や教員資格のような、指導員としての資格要件がありません。 このため、例えば、子どもとの遊び方を学ぶ講座や、特性を持った子どもたちの特色や見守り方法を学ぶ講座等、様々な研修会へ参加することにより、知識を取得してほしいという考えです。</p>
<p>・放課後の子どもの居場所に関するニーズが、長久手市のそれは、国の想定するものと違う傾向にあるとあります。具体的にどう違うのでしょうか。 ・一体型推進事業とは外れますが、「学童保育所」についてはどのような支援事業をされていますか。国の「放課後子ども総合プラン」でも、児童クラブと子ども教室の一体型の推進はうたわれていますが、学童保育所という言葉はありません。将来的には、学童も含めた一体型かと思いますが、どうでしょうか。</p>	<p>・市では、平成29年12月に、放課後子ども教室利用の保護者と児童に対し、ニーズ等を把握するためのアンケートを実施しました。 アンケート結果では、放課後子ども教室の利用目的について、国が想定する体験・学習を目的に参加する児童が多くいる一方、中には、保護者が就労しており、児童の預け先として放課後子ども教室へ参加している児童が一定数みられました。</p> <p>・学童保育所の事業内容ですが、児童福祉法に基づく、放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)となり、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供する点については、児童クラブと変わりありません。 長久手市においては、放課後児童クラブを運営主体の違いにより呼び分けており、公設公営のものを児童クラブ、公設民営のものを学童保育所としています。 同様に、放課後子ども総合プランでは、「放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な実施の推進」とありますが、公設公営の児童クラブと公設民営の学童保育所がこの「放課後児童クラブ」に該当します。 長久手市においては両事業とも市が運営する児童クラブと放課後子ども教室において、この一体型の実施を進めています。なお、学童保育所においては、一体型ではなく、国が放課後子ども総合プランで別に示す、連携型としての実施を推進していきます。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑦ふるさと寄附金推進事業【財政課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>寄附対象の特定の5事業と選定した理由を知りたい。 積極的ではないにしろ前向きに検討が進んでいるようで市の財政的にもよいと思う。</p>	<p>長久手市ふるさとづくり事業実施要綱に基づき、事業実施担当課からの申請を財政課で審査し、対象事業を決定しています。</p>
<p>・特定の5事業に寄付を募るとありますが、その5事業を具体的に教えてください。 ・返礼品の内容を見直し、劇画本はやめたとありますが、最終的に返礼品は何になったのでしょうか。 ・上記2点ともネットで調べられましたが、「回答」の中で記載があると良かったです。少なくともどこを閲覧すると分かる程度には。</p>	<p>長久手市ふるさとづくり事業実施要綱に基づき、事業実施担当課から申請があり、財政課の審査で適当と認められた事業が募集の対象となります。現在、「里山保全事業」、「平成こども塾わくわく事業」、「飼い主のいない猫対策事業」、「古民家復元事業」、「古戦場再整備事業」の5つを対象に募集しています。</p> <p>返礼品については、寄附金額に応じて、委託先の第三セクターからあぐりん村新鮮野菜ボックス又はオリジナルセットが寄附者等へ届けられます。</p> <p>いただいた御意見を参考に、今後記載することとします。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑧里山保全事業【みどりの推進課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>里山基本計画に位置付けるという対応だけでは中身が全く分からない。基本計画に位置付けた結果、どのようになったかを知りたい。</p>	<p>里山の保全・利活用のための具体的な取組を里山基本計画に位置付けたため、今後その取組を推進していきたいと思えます。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑨情報化推進事業【情報課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>評価指標をどう見直したかを知りたい。 見直した結果は次年度に再評価していただきたい。 セキュリティと効率のバランスを考慮した情報システムの構築は当然のことで、具体的に何を対応したのかが分からない。</p>	<p>昨年度外部評価のご意見を参考に、限られた予算・庁舎・環境内において、情報システムの恒常的な安定稼働を目指している現状から、今年度の評価指標を「問い合わせ件数」から、「終日に渡るシステム障害件数」と「セキュリティインシデントによるシステム停止件数」に変更しました。</p>
<p>評価指標をどのように見直されたのか、具体的に教えてください。</p>	<p>昨年度外部評価のご意見を参考に、限られた予算・庁舎・環境内において、情報システムの恒常的な安定稼働を目指している現状から、今年度の評価指標を「問い合わせ件数」から、「終日に渡るシステム障害件数」と「セキュリティインシデントによるシステム停止件数」に変更しました。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】

⑩女性管理職登用【人事課】

行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>時間外勤務時間数の削減や育児休業取得率の向上は女性の活躍やワークライフバランスの観点から本取組の効果が表れた結果と思う。管理職登用が目的にならないように、施策名を「働き方改革」に変更したのは適切と考える。</p>	<p>今後も、多様な人材の活躍を促進する職場環境を整えるため、時間外勤務時間数の削減、年休取得の推進、育児休業取得率の向上に取り組んでいきます。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑪地域振興事業【たつせがある課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>「引き続き検討」では内容が分からない。検討内容と結果を記載すべき。今後も活動内容の継続的な広報に期待する。</p>	<p>まちづくり協議会は、地域住民の様々な価値観を尊重し、繰り返し協議を重ねながら進めています。うまくいかないことや、遠回りすることもあり、繰り返し協議を重ね、少しずつではありますが、市民主体のまちづくりに向けて進んでいると考えます。質的な指標について、適した指標が見当たらず、苦慮しています。</p> <p>まちづくり協議会としてまち協フェスティバルを開催したり、市と協働で自治会へ出前講座を開催したりして、情報発信をしています。</p>
<p>1 まち協の設立に関し、「引続き、既存の団体等……取り組んでいきます。」とのことであるが、具体的にはどのように行うのか。</p> <p>2 同じく、まち協の市民への周知について、既存まち協の内容のPRをするのではなく、市としてのまち協設立の目的、また果たすべき役割をもっと明確に説明することはしないのか。</p>	<p>1 平成30年11月には、まちづくり協議会に関する出前講座を、自治会に対して実施しました。このように、既存団体等への周知を図り、理解を得られるように、事業を進めていきます。</p> <p>2 平成31年6月に南小学校区まちづくり協議会設立に向けたキックオフイベントを実施し、まちづくり協議会について説明を行いました。今後も、市として、まちづくり協議会についての説明に努めていきます。</p>

平成30年度外部評価後の対応状況に係る質問返答表

事業又は施策名【担当課】	
⑫古戦場公園再整備事業【生涯学習課】	
行政改革推進委員からの質問	担当課の返答
<p>イオンモールでのイベントを活用しや市民への周知はよいと思う。市民ワークショップが活性化することで、市民主体のマネジメント組織設立につばがると思われ、市の積極的な支援に期待する。</p>	<p>今年度も引き続き、市民ワークショップやイベントを実施することにより、本事業を市民に周知し、市民主体のマネジメント組織の設立につなげていきたいと考えています。</p>